



AA日本ニュースレター

AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会
TEL03-3590-5377 171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橋ビル 9F

100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916

No.29

ワールド・サービス・ミーティング 評議員選出選挙のお知らせ

地球的規模で、AAの最終目的『まだ苦しんでいるアルコール中毒者にメッセージを運ぶ』ための分かち合いを目的とするワールドサービスミーティング(以下WSM)に出席するWSM評議員1名を選出する選挙が全国の全体サービス代表者(グループ代議員)の郵送投票によって行われます。

WSM評議員の果たす役割については、この号で現在の評議員の方によって説明されていますので触れませんが、現在まで3名のWSM評議員が出席したことで、日本のAAサービス活動が、どのような活力を生んだかを、個人的にはありませんが話してみたいと思います。

1984年、初めてグループの献金による支援で1名のWSM評議員がワールド・サービス・ミーティングに出席しました。その評議員が刺激を受けて来たのは、全国サービス体系を確立することの重要性でした。そく実行に移した行動は、全国レベルのサービスフォーラムを開催し、全国サービス体系提言委員会を発足させ、その確立に向けて情熱を投入したことでした。そして、1987年の開催には2名のWSM評議員が出席し、全国の各地域に報告会を重ねながら推し進めた行動は、ゼネラル・サービス・ミーティングを開くことでした。その行動が確かな足跡となり、第1回のゼネラル・サービス・ミーティングが開催されました。

そして昨年開かれたWSMに出席した評議員2名による報告会でご存じかと思いますが、現在の日本のAAにとって必要な身近な問題が細部にわたって話し合われるという結果を耳にすることで、AAのサービスが一体であることの理解を強く感じさせてくれています。

このように指示、命令が入り込まないAAの活動の基本は経験の蒸留です。その原動力となる源は、『分かち合い』から来る刺激です。そのためには確かなリーダーを送る必要があります。このように確かなリーダーを送り、『全体サービス』を進めてい

く要となる人が、全体サービス代表者(グループ代議員)なのです。

しかし、今回まではこのWSM評議員の選出方法は未完成の状態でした。『全国代議員集会』という名称の場で選出選挙を実施してきたものの、形式のみで、実際は関東地域の代議員と少数の他府県の代議員によって選出されてきました。

そして、昨年度のWSMに出席する評議員の派遣費用とその報告会を開くための費用を詳細に説明し、目的が達成され、気運がWSM評議員一人一人に刺激となって、『選出選挙』をより確かな方法で行うことへと導かれていったのです。その結果、第2回のWSM全体会議で『今回の選出方法』を次の方法で実施する結論に達したわけです。

まず、有権者にあらかじめ「立候補者のプロフィールと推薦者2名の推薦状」を送付し、その内容を十分にお読みいただき、投票することをお願いするわけです。選挙方法はAAの第3レガシーに即して行い、当選は選挙権者総数の3分の2をもって確定致します。

投票期間は8月7日より31日の消印まで有効としました。

開票は9月8日に2名の立会人のもとに選挙管理委員会が行います。

開票結果は全国のグループへ文書で報告します。

今回の選挙は『全体サービス』を全国のグループが責任をもって進めていく重要な選挙です。どうか一人でも《棄権》の無いように《投票》くださることをお願い致します。

WSM評議員選出選挙
選挙管理委員会委員 今井

WSM (ワールドサービスミーティング) 評議員を経験して

WSM評議員 / JSO山本

89年4月9日、八王子の関東ラウンドアップ会場で、その開始に先立って全国代議員集會が開催され、WSM評議員の選出選挙が行われた。全国代議員集會といっても、実際に全国から代議員が参加するのは事実上不可能で、そこに参加できた、全国規模からみればごく一部の代議員たちが、1名の候補者を信任投票するというかたちで選出が行われたのである。

そのような経過で私はWSM評議員に選出された。WSM評議員の条件というのがある。振り返ってみたい。1) 全国レベルでサービスの経験があること：わたしの場合これは本職である。2) リーダーシップを取る資質、組織作成能力があること：あまり自信がない。3) サービスへの純粋な関心、AAに対する知識と愛情があること：誇りをもってイエスと言える。4) 英語を実際に理解できること：各国のお国訛りの英語にほとんどパニック！そして最後に、5) WSMについて国内のAAに報告できる時間が取れること：昨年11月東京で開催されたゼネラル・サービス・ミーティングでの報告会を皮切りに、2月に東北、3月に北海道、関西、関東、そしてこの7月に九州と、要請を受けた地域に出向いて行っている。

今回の活動費用は、GSMの財務委員会の呼びかけで特別献金100万円が集められた。それで、2名のWSM評議員のミュンヘンWSM参加費用と国内の報告会への往復交通費が賄われ、更に報告書作成費用に当てられる。会計報告はこの支払いが終わってから各グループに送付予定である。

実際にWSMに参加するまでは、まる5日間びっしり組まれたスケジュールを実際にこなしていけるのか、具体的に一体どういうものであるか、日本のAAがほかの国々と比べてどうなのか、不安ばかりで、来る日も来る日も資料と首っぴきだった。さらにミュンヘンに向かう飛行機の中でも、会期中のホテルの部屋でも、時間があれば「12の概念」や過去の議事録を読んで、やっとの思いで実際の會議に臨んだ次第である。

報告書をお読みいただければ、WSMの一部始終WSM評議員 / JSO山本が伝えられるかと思うが、国

レベルでの分かち合いといっても、国内のどこのグループでも、遅かれ早かれ日常生じる問題やできごとが、国や文化や話す言葉が違って、ほとんど共通しており、取り立てて難しい問題が取り上げられる訳ではなかった。JSOで仕事をしている立場としては、ごく身近なことばかりで、はっと胸をなでおろしたものの、やはり、それこそお国訛りの生の英語の壁はわたしには非常に厚いものだった。

また、このときほど、自分がアルコールでないことに引け目を感じたことはなかった。弱音をチラッとのかせるなら、他の国ではノン・アルコールの評議員の場合、大体がその国で地位も名誉もある人なのである。わたしには、アルコールであることを胸を張って表明し、自分たちの経験を自信をもって分かち合う一人一人の評議員の姿が、非常にまぶしかった。やはりわが国も、誇りをもって、自分たちの仲間の中から評議員を送りたい。

まだ任期途中だが、WSM参加の経験を日本のAAにどう生かしていけるか、課題はいつも山積みされているが、AAでは一人では何も動いていかない。わたしにできることは、AAという集合体の基礎をなすグループやメンバーに少しでも多くの正確なAAの情報伝えることと信じ、せっせと翻訳作業を進めている毎日である。

パソコン通信に興味を持つ

AAの皆さんへ

私たちのソーバーのために、そしてまだ苦しんでいる人々へAAのメッセージを運ぶためにパソコン通信で何かできないかと考えているAAメンバーの皆さん。

ニフティサーブのホームパーティーというサービスを利用してパソコン通信についてパソコン通信を使って夢を語り合える場所を作りました。

関心のある方はニフティサーブでID: MAHO1504までメールをください。

(パソコン通信とソブライティに興味を持つメンバーより)

私たちの歴史

神奈川地区と「そよかぜだより」



【生い立ち】

神奈川地区の月刊誌「そよかぜだより」は、今から5年半ほど前の86年3月に地区広報係の名前で出された「神奈川地区委員会連絡表」というB4版1枚のチラシから始まりました。

神奈川の7つのグループが(当時は7つだった。今は14になっている。)お互いに協力して今苦しんでいる仲間にメッセージを運ぶために各グループの連絡板として使われたらというのが、創刊の目的でした。

名前をメンバーから募ったのですが、なかなか決まらず、「マリンだより」、「横浜インターグループ連絡表」、「はしけだより」、「スカイブルーだより」、「ニューズレター」(今のAA日本ニューズレターが出る2ヶ月前です)、「ターニングポイント」と出すたびに名前が変わるという時期があって、第8号から「海風」と書いて「そよかぜ」と読ませる無理な読ませ方の名前に落ち着きました。

【現在】

現在の発行部数は360部。体裁はB5版4~8ページで、メンバー・関係者からの投稿、各グループからのお知らせ、地区のサービス委員会の報告などで構成されています。

発行に要する費用(といってもコピー代だけですが)は、地区の献金でまかなわれ、地区のメンバーのほぼ全員と関係者の方に無料で配布されています。

「そよかぜ」のための委員会というものは特になく、数人のメンバーが回り持ちでワープロを打って紙面を作り、それをコピーしてできあがりという非常に簡単な作り方で、地区の合同ミーティングのある第二日曜日に、印刷したての「そよかぜ」をミーティング場に持ち込み、後ろの方でみんなに折ってもらい、その場で製本してあわただしく配るというようなことをしています。

【「そよかぜだより」の5年半】

今年になって名前を「海風だより」から無理なく読める「そよかぜだより」に変更しましたが、創刊号から数えて91年7月号で通算65号になりました。創刊以来ともかく毎月出し続けてきたこととなります。

」SOが今の池袋に移転したという記事は、86年

7月の第5号に載っています。同じ号には日本のAAの広報紙の名称が「BOX-7956」から「BOX-916」に変わったという記事も載っています。「AA日本ニューズレター創刊」の記事は86年10月の第8号になって出てきます。こうして「そよかぜ」を通して見ると日本のAAの歩みというもの、とても身近に感じられてきます。

「そよかぜ」は広報誌と言えるほど立派なものではありませんが、その時々私たちが何をしていたのかということ具体的な形で残しておこうという気持ちで作られてきました。

今65冊のバックナンバーを読んでみると、ささやかではありますが、「私たちの歴史」というものが感じられます。

委員会の報告やミーティングの日程だけのお知らせから、だんだんとフェローシップの記事が増え、各地で行われる催し物にでかけていった仲間からの感想がひんぱんに寄せられるようになります。神奈川から他の地域へメッセージを運ぶ仲間からの声も寄せられてきます。ミーティング場がどんどん増えていきます。毎月のように新グループ誕生の記事が続いたこともありました。

家族や関係者の方も暖かい文章を寄せてくれるようになりました。

これからも「そよかぜだより」は身近な私たちの歴史を刻みながら神奈川地区のAAとともに歩み続けたいと考えています。

—「そよかぜだより」愛読者より一言—

「そよかぜだより」に関係者から寄せられる文章は、毎回、思わずウンとうならされるものばかりで、そのような関係者とのつながりを持っている神奈川のメンバー層の幅の広さに、またまたウンとうならされるのです。

また、「そよかぜ」の特集として、神奈川県内のミーティング場の地図がすべてカバーされた号は、製作者には本当にご苦労様という言葉が出てきます。おかげさまで今も愛用させていただいています。

日本ゼネラルサービスミーティング 財務委員会からのお願い

既に皆様のグループには、出版運用資金設立の趣旨説明と、この設立のための特別献金のお願いが届いていることと思いますが、日本AAの初めての試みでもあり、しかも、恒久的に日本AAの出版活動を支える重大な問題であるために、皆様のより深いご理解を賜るために、この紙面をお借りし再度の説明をさせていただきます。

目標額300万円、締め切りを1992年末とするこの献金によって設立される出版運用資金は、文字どおりその運用目的を出版のみに限定しております。

運用と日常管理はJSOの出版局が行いますが、監査は日本ゼネラルサービスミーティング(GSM)の財務委員会が責任をもって行い、また、出版物の選定に当たっても日本GSMが関与し、皆様の要望に沿うものだけに限定させていただきます。

すなわちビッグブック、12&12、パンフレットやハンドブック等を初めとする通常の出版物の再版や増版はJSOの通常予算の中で行い、その予算の枠ではまかなえないものの、日本AAが必要不可欠とするものだけに限定して資金運用を行います。

そして、その資金は一度出版物在庫と姿を変えましても、売上の上がるたびに元金に還元し、次回の運用のために備蓄して行くという方法を取ります。

この点が、AA15周年特別献金、WSM評議員派遣特別献金のように一つの事業が終了した時には、その資金も消費してしまっているという今までの献金と性格を異にするものであります。

今回、この資金によって出版を予定しておりますのは個人の物語を除いたビッグブックの朗読テープと、アメリカで発行されたホープ(希望)という題名のビデオテープの日本語版です。どちらも今まで日本のAAが持たなかった新しいメディアによるメッセージ手段として、今後の日本AAの発展に寄与するものであると信じております。

この趣旨をご理解のうえ、皆様からの善意に基づく献金をお願い申し上げます。

献金の方法はグループにお届けした所定の振替用紙を使うか、書留、あるいはどのような方法でも結構ですが、出版運用資金の特別献金であることが確実に分かるような方法でお願いいたします。

尚、郵便振替口座番号及名義は以下の通りです。
東京1-750706 AA出版運用資金


91 AA 北海道
ラウンドアップ
テーマ「ゆとり・回復」

場所 富良野市北の峰14-16「北誠荘」
日時 平成3年9月21日、22、23日
お問い合わせは: AA北海道インターグループ
電話 011-824-4670

11月2日(土)・3日・4日(月)

“長野” ’91 AA 関東甲信越秋季ラウンドアップ

場 所: 信州戸倉上山田温泉「白鳥園」
費 用: 未定





上記、3種類のサービスマークを日本AA—アルコホーリクス・アノニマスは、商標法改正に備え、発行する文書に積極的に使っています。各グループでも、案内状、議事録等にAAの文書であることを明確にするため、積極的に使用下さることをお願い致します。